

緩和医療〈F2〉

講義担当者

腫瘍センター

緩和ケアセンター 副センター長 月山 淑

講師 栗山 俊之

I 一般学習目標

疾患を持った患者と家族に対して療養生活の質の向上を提供するプログラムである緩和医療の基本を学ぶ。更に生命の危機に直面している患者・家族への対応・治療について理解する。

II 個別学習目標

- (1) 緩和医療を概説できる。
- (2) 腫瘍における緩和療法を概説できる。
- (3) がん患者の持っている Total Pain（全人的苦痛）について理解できる。
- (4) Total Pain（身体的・精神的・社会的苦痛）の除去の方法を説明できる。
- (5) Total Pain のうちの Spiritual Pain について理解できる。
- (6) がん性疼痛コントロールの適応と問題点を説明できる。
- (7) 医療用麻薬の適正な使用について説明できる。
- (8) 緩和医療における患者・家族の心理を説明できる。
- (9) 終末期患者の療養場所としてのホスピス、一般病院、自宅の違いを理解できる。
- (10) 地域における在宅ターミナルの体制を説明できる。
- (11) チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につける。

III 教育内容および講義日程表

No	月日	曜日	時限	タイトル	内容
1	H30. 10. 1	(月)	5	緩和医療	緩和医療学とは、Total Pain の概念の理解、チーム医療
2	H30. 10. 15	(月)	5	身体的苦痛の除去	がん性疼痛コントロール、医療用麻薬の適正な使用、在宅ターミナルケア

IV 教育方法

講義；スライド、プリントなどを使用する。また、学生に対するアンケートを実施する

V 評価の方法

最終講義時間内に筆記試験を行い、評価は試験の点数により行う。

VI 推薦する参考書

1. がんの痛みからの解放-WHO 方式がん疼痛治療法- 第2版 金原出版
2. がんの痛みからの解放とパリアティブ・ケア-がん患者の生命へのよき支援のために- 金原出版